



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月2日

上場会社名 日本曹達株式会社
 コード番号 4041 URL <https://www.nippon-soda.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿賀 英司
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 見邊 伸樹
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3245-6053

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	40,441	27.1	5,838	149.6	8,690	224.3	5,851	237.8
2022年3月期第1四半期	31,826	1.7	2,339	1.9	2,679	23.4	1,732	△17.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 9,636百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 560百万円 (△67.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	210.02	—
2022年3月期第1四半期	61.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	251,890	164,349	64.3
2022年3月期	245,585	158,298	63.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 161,950百万円 2022年3月期 155,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	125.00	180.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		90.00	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	22.6	10,700	206.8	14,200	185.4	9,400	198.9	337.38
通期	162,000	6.2	12,300	3.1	16,500	△0.1	11,000	△13.3	394.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の決算発表時に見直しを行う予定であり、今回は修正をしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P8.「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	28,811,707 株	2022年3月期	28,811,707 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	949,988 株	2022年3月期	949,838 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	27,861,781 株	2022年3月期1Q	28,030,049 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い停滞している経済活動の持ち直しの動きが見られたものの、世界的な海上輸送の混乱や原燃料価格の上昇、および地政学リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、長期経営ビジョン(2021年3月期～2030年3月期)および中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)を推進し、企業価値の向上に向けた諸施策に全力で取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、原燃料価格の大幅な上昇の影響を受けたものの、農業化学品事業や化学品事業、および商社事業において販売が増加したことや、販売価格の修正を実施したこと、および原燃料価格の上昇による在庫評価益を計上したことなどにより、売上高は404億4千1百万円(前年同期比27.1%増)、営業利益は58億3千8百万円(前年同期比149.6%増)となりました。

経常利益は、持分法による投資利益が増加するとともに、為替レートが前年度よりも円安に推移したことなどにより、86億9千万円(前年同期比224.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、58億5千1百万円(前年同期比237.8%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[化学品事業]

医薬品添加剤「N I S S O H P C」やK r Fフォトレジスト材料「V P ポリマー」が伸長したこと、および原燃料価格の大幅な上昇に伴い、販売価格の修正を実施したことにより、当累計期間の売上高は114億7千9百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

[農業化学品事業]

世界的な海上輸送の混乱や今後の販売価格の上昇を想定した前倒し需要が発生するとともに、病害の発生拡大を見越した引き取りの増加により、殺虫剤「モスピラン」や殺菌剤「パンチョ」・「トップジンM」・「ピシロック」、および殺ダニ剤「ニッソラン」の輸出向けが伸長し、当累計期間の売上高は134億4千万円(前年同期比51.7%増)となりました。

[商社事業]

各種有機薬品の増加により、当累計期間の売上高は94億5千6百万円(前年同期比11.7%増)となりました。

[運輸倉庫事業]

運送業は減少したものの、倉庫業が増加したことなどにより、当累計期間の売上高は11億1千3百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

[建設事業]

プラント建設工事の増加により、当累計期間の売上高は23億4千7百万円(前年同期比88.1%増)となりました。

[その他]

当累計期間の売上高は26億2百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したものの、棚卸資産の増加や、持分法による投資利益を計上したことなどによる投資有価証券の増加により、前連結会計年度末に比べ63億5百万円増加し、2,518億9千万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金が減少したものの、借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億5千3百万円増加し、875億4千1百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ60億5千1百万円増加し、1,643億4千9百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は64.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、前回(2022年5月10日)発表予想を以下の通りに修正しております。なお、第2四半期の為替レートは1ドル=127円、1ユーロ=137円を想定しております。

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	75,500	6,900	8,200	5,000	179	46
今回修正予想(B)	79,000	10,700	14,200	9,400	337	38
増減額(B-A)	3,500	3,800	6,000	4,400	—	
増減率(%)	4.6	55.1	73.2	88.0	—	
(ご参考) 2022年3月期第2四半期連結累計期間	64,434	3,488	4,975	3,145	112	49

<修正の理由>

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、農業化学品事業において、世界的な海上輸送の混乱や今後の販売価格の上昇を想定した前倒し需要が発生するとともに、病害の発生拡大を見越した海外向けの引き取りが増加していること、持分法による投資利益が増加する見込みであること、および為替レートが想定よりも円安に推移していることなどにより、営業利益、経常利益、および親会社に帰属する四半期純利益は前回発表予想を上回る見込みです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の決算発表時に見直しを行う予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,936	17,518
受取手形、売掛金及び契約資産	48,561	42,964
電子記録債権	3,947	4,501
棚卸資産	34,861	39,929
その他	3,716	5,588
貸倒引当金	△11	△16
流動資産合計	109,011	110,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,741	22,364
機械装置及び運搬具（純額）	21,442	20,751
工具、器具及び備品（純額）	2,020	2,176
土地	14,945	14,967
建設仮勘定	5,768	6,410
その他（純額）	1,246	1,301
有形固定資産合計	67,165	67,973
無形固定資産		
のれん	158	152
その他	4,810	4,583
無形固定資産合計	4,969	4,736
投資その他の資産		
投資有価証券	47,666	51,683
退職給付に係る資産	11,717	11,972
繰延税金資産	3,338	3,321
その他	1,718	1,718
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	64,439	68,694
固定資産合計	136,574	141,403
資産合計	245,585	251,890

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,093	18,951
電子記録債務	2,229	3,369
短期借入金	22,572	24,707
未払法人税等	2,248	1,135
賞与引当金	4,370	2,657
その他	6,769	6,020
流動負債合計	57,284	56,841
固定負債		
長期借入金	16,414	16,022
繰延税金負債	6,920	8,041
退職給付に係る負債	2,230	2,236
環境対策引当金	465	423
その他	3,971	3,976
固定負債合計	30,002	30,699
負債合計	87,287	87,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	25,670	25,670
利益剰余金	96,399	98,759
自己株式	△2,830	△2,830
株主資本合計	148,406	150,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,257	10,512
繰延ヘッジ損益	△14	△165
為替換算調整勘定	△5,184	△586
退職給付に係る調整累計額	1,479	1,422
その他の包括利益累計額合計	7,537	11,184
非支配株主持分	2,354	2,399
純資産合計	158,298	164,349
負債純資産合計	245,585	251,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	31,826	40,441
売上原価	22,783	27,385
売上総利益	9,043	13,055
販売費及び一般管理費	6,703	7,216
営業利益	2,339	5,838
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	238	333
持分法による投資利益	44	1,620
為替差益	81	806
その他	195	328
営業外収益合計	559	3,090
営業外費用		
支払利息	71	65
その他	148	173
営業外費用合計	220	238
経常利益	2,679	8,690
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	—	20
特別利益合計	0	20
特別損失		
固定資産廃棄損	7	231
減損損失	39	—
その他	6	—
特別損失合計	53	231
税金等調整前四半期純利益	2,626	8,479
法人税、住民税及び事業税	334	989
法人税等調整額	471	1,523
法人税等合計	805	2,513
四半期純利益	1,820	5,966
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,732	5,851

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,820	5,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△928	△772
繰延ヘッジ損益	△91	18
為替換算調整勘定	186	802
退職給付に係る調整額	△62	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	△363	3,674
その他の包括利益合計	△1,259	3,670
四半期包括利益	560	9,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457	9,498
非支配株主に係る四半期包括利益	103	138

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	9,914	8,860	8,463	1,092	1,248	29,578	2,247	31,826	—	31,826
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,939	14	1,189	440	5,891	11,475	752	12,227	△12,227	—
計	13,854	8,874	9,652	1,533	7,139	41,053	3,000	44,054	△12,227	31,826
セグメント利益	1,263	162	267	151	382	2,226	307	2,533	△194	2,339

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,479	13,440	9,456	1,113	2,347	37,838	2,602	40,441	—	40,441
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,649	22	2,385	418	866	7,342	654	7,996	△7,996	—
計	15,128	13,463	11,842	1,532	3,214	45,181	3,256	48,438	△7,996	40,441
セグメント利益	1,830	2,927	375	192	95	5,422	273	5,696	142	5,838

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。